石ん根の道節

本調子


工 五 工尺上 四 合尺工 〇 尺 〇 工 五
イシン
工 〇 工 五 尺 〇 工 六 七 〇 六 工
ニ ヌヨウ ミ
尺 〇 尺 工 六 〇 七 八 七 〇 七 六
チ カ ラ
七 八 六 工 尺 〇 工 五 工 〇 工 尺
ティ ラ ヌ ス
上 〇 上 老 四 〇 四 老 四 上 四 乙四
バ ハリ
合 〇 合 合老四 〇 四 上 尺 〇 工 五
マ ディ
工 〇 工 合尺工 五 工 尺 上 〇 上 尺
ン アガ ス
工 〇 工 工 尺 上 老 四 〇 四 老
ミヤ ヨウ
四 上 四 乙四合 〇 合 合老四 老 上 尺
ハリ ウ ネ サン サチ
工 五 工尺上 四 〇 工 五 工尺上 四
ウ ネシ タ

石ん根の道節

一、石ん根の道からてらのそばまでも
主部衆や先からみやらびやあとから
はり水におりて船元にのぼて
片手しやくびだき片手しやしやくと
て
目のしやいや主の前池間崎見送ら
肝しやいや主の前沖縄までおくら

本調子